

寄稿

「市民力・地域力を活かした『人づくり』へ」

小田原市長 加藤 憲一

地域の様々な課題を克服し、小田原が持つ可能性を最大限に発揮していくには、各分野の取り組みを担い支える多くの「人」が不可欠。しかし現在、現場ではその確保・育成が深刻かつ喫緊の課題となつていきます。幾つか分野を挙げてみます。

働き手がなかなか集まらない、超高齢化社会を支える介護分野。耕作放棄地が増える中、高齢化と後継者不足が深刻な農業者。自治会や民生委員など役員になり手不足に悩む地域コミュニティ。豊かな自然がありながら、鳥獣害や荒廃が進む里山などの環境保全活動。

子どもたちの地域総ぐるみでの育成、居場所づくりや学習支援の活動。今後大幅に増えるであろう外国人を含む観光客をもてなすガイド等受け入れ態勢。長い歴史がありながら活動が縮小傾向にある貴重な芸術・文化活動。徒歩生活圏の暮らしを支える身近な商店街…。

へ本格的に着手すべく、準備を進めています。子どもから高齢者まで、世代や経歴を問わず、市民の皆さんが関心のある分野に少しずつでも関わってもらうことで、課題解決は進みます。今後広く呼びかけを行っていきますので、是非とも力を発揮して頂きますよう！



かとうけんいち

1964年小田原生まれ。小田原高校・京都大学法学部卒。2008年5月小田原市長に初当選、現在3期目を務める。妻と子供2人の4人家族。

これらの各分野は、小田原がこれまで培ってきた地域力や市民力の下地があり、加えて小田原ならではの豊かな資源を活かせる領域。市では現在、各分野の主要な担い手の皆さんと相談しながら、民と官が連携した人づくり

私が変わる・小田原が変わる

おだわらを拓く力
(加藤けんいち後援会)

小田原市栄町2-13-1-2F
TEL.0465-21-5260
(月・水・金 10:00~17:00)
<http://www.katoken.info>